

第12号

市小公連だより



筑紫野市小地区公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市小公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3
 ■発行責任者 会長 森田 陽子 生涯学習センター内 ☎092-918-3535

【役員のことば】 本町公民館長



代表理事 椎葉 眞弓

市小公連は平成28年度の事業方針として、筑紫野市地域コミュニティまちづくりの推進にともない小公連の組織を五地区から七地区へと編成しました。この編成に伴い、小公連をはじめコミュニティセンター・各公民館では「変革の年」とし、公民館の役割・意義をしっかりと見据えて生涯学習の推進とともにコミュニティ運営協議会との連携を深め、住み良いまちづくりに努めます。推進大会で宣言したとおり、各地区小公連は地域のコミュニティ活動に参加する一つとして文化祭はコミュニティと合同で開催した地域が多々ありました。平成29年度市内総ての小中学校で始まるコミュニティスクールは家庭・学校・地域が連携をはからなければなりません。いずれにしても小地区公民館は九州大会宣言文の中にあるように

- ・ 誰もがちよつと立ち寄つてみたくなる魅力ある公民館
 - ・ 自己向上の願いが叶う、学びを大事にする公民館
 - ・ 人づくり、地域づくりに貢献できるリーダーが育つ公民館
 - ・ 人の温かさと心配りがにじみ、地域の絆をつくる公民館
- を目指し日々活動していききたいと考えています。

市小公連の活動報告

小地区公民館で毎年新しく開設される講座の内、公民館が主催する講座や地域の団体、住民の学習支援を公民館が行う場合を対象として講師謝金(一定限度内)を補助しています。是非、ご活用ください。対象となる講座の内容は、次の例を基本とします。

- ① 社会的課題や地域課題、生活課題などを地域で考える講座
例えは・・・人権学習、環境学習、高齢者学習、福祉問題、防災防災振興等
- ② 趣味、教養など市民の学習推進につながる講座
例えは・・・ストレッチ体操、生け花、陶芸、習字、そば打ち、門松づくり等
- ③ その他、小地区公民館の学習活動推進につながる講座
今年度は35の公民館主催講座が実施されたが、そのうちの3講座を紹介します。

武蔵公民館



「博多にわか教室」天拝中学校生徒地域貢献活動の一環として中学生や老人会のメンバー等が参加し、博多にわか歴史と実演(寸劇)を実施。初心者でも親切丁寧に指導。【参加者】36名【成果】公民館行事への積極参加啓蒙の効果大。【課題】博多弁が日常から遠ざかっているので「オチ」を理解してもらおうのが難しい。

公民館主催講座

筑紫駅前公民館

筑紫駅前通区を主体とした地域の歴史・文化・史跡等についての説明会及び現地見学、案内、解説。



大石公民館



蕎麦粉を捏ねる②

「十割手打ちそば作り教室」平成28年の終わりに当たり、十割の蕎麦粉を使用した年越し手打ちそば作り教室【参加者】13名【成果】自分たちで安価な美味しいそば作りを目指すことを目的とし、他地域との交流の輪を広げることができた。【課題】そば打ち体験者を増やすには道具の準備が必要であり参加者全員が体験する機会を持たせる為に苦労した。今後、参加者に負担をかけなくて済むような道具の工夫が必要と思った。

【参加者】19名【成果】地域の成り立ち等を時系列的に学ぶとともに、文化・史跡等について、現地での解説を聞き、参加者一同、理解を深めることができた。【課題】地域の歴史等を整理した資料がほとんど無くて、準備するのに手間取った。

市小公連地区別視察研修会



山家地区全公民館

平成29年1月14日(土)
松田美幸氏(福岡県男女共同参画センターあすばる館長)による講演「演題…女性も参画するまちづくり」でした。①地域の課題②地域の課題の解決を担う人材③公民館の新たな役割と地域活性化事例④全員参加を阻む壁・固定的な性別役割分担意識⑤全員参加を阻む壁・男性中心型労働慣行⑥男女で取り組むまちづくりを主体としたものです。女性の指導的地位の役割は、なぜ低いのでしょうか。その背景には①家事と仕事とがセットとなる②家族が反対する③指導的役割は男がするもの等などです。解決策の一つとして、女性の方も勇気を出されること、そして家族の方にも理解してもらうことが大切だと提言されました。



筑紫地区 美咲公民館

平成29年2月19日(日)
美咲隣保館にて開催されました。研修会テーマ「美咲のまちづくりから」(発表者) 美咲公民館主事 藤本 進 「発表内容」昭和初期の公会堂の様子・昭和21年に全焼した大火災・ワークショップによる住民環境づくりの取り組み・毎月の全員参加の常会と清掃活動・美咲大学の学部紹介・ボランティア活動、各工房の活動・子供会による資源回収活動 (年間行事の紹介) 8月夏祭り 9月敬老会・カヌー大会 10月スポーツフェスタ 12月もちつき・防犯パトロール・声かけ運動 1月ほうげんぎょう

高齢化が進み、各行事の参加者が年々少なくなってきたという状況下、いかに参加者を多く保てるよう思案しています。



山口地区全公民館

平成29年2月4日(土)
「高齢社会における公民館事業について考えよう」(山口コミセンにて) 山口地区は、7コミュニティの中で最も高齢化率の高い地域です。又、地域の絆は最も強い地域で、近隣と親しくしている人が多いという特徴があります。 今回の研修は最初に問題提起として「高齢社会における公民館の役割」と題し、山口コミセンの上島主事の話を行い、その後、行政区ごとにグループ討議を行い、「各区の現状、現在の事業、今後の活動や公民館の役割とは」について討議をおこないました。 今後の高齢社会のあり方について一人でも多く議論し、自分達の地域を見つめ、地域課題の解決のためにどう実践するかを考える研修となりました。



二日市地区 杉塚公民館

平成29年2月11日(土)
杉塚公民館にて開催されました。「杉塚公民館の活動概要・公民館建設経過について」をテーマに報告がありました。 第1部公民館活動報告 杉塚の過去・現在・未来について・杉塚は文化遺産が多いこと、公民館活動としての、夏祭り・文化祭・サロン等についての映像を見ての報告がありました。その中でも、毎週土曜日に地元新鮮野菜販売・健康朝起きラジオ体操の活動がありました。 第2部公民館建設経過報告 築43年の公民館、世帯数が3.4倍・人口2倍となり、老朽化・避難所として不相当等の理由から建設の運びとなりました。新公民館は、12月に完成し、平成29年1月15日に落成式・お披露目会が行われ大勢の区民の方で祝った。



御笠地区 中阿志岐公民館

平成29年2月12日(日)
研修テーマは、高齢化の進む中、公民館の役割である「集まる」、「学ぶ」、「つながる」の3原則を念頭に、地域住民の教養の向上や健康の増進を図り交流、連携を図ることとした。しかし、このテーマに対して実態は、厳しいものがあり、以前は活発に行われていたが現在は殆ど行われていない現実があった。そのため、住民ニーズのアンケート調査を実施し、幾つかのヒントを得て試行した。 今回の取り組みで得たものは、住民ニーズと地域的特性を融合させる必要があること、教室指導者についても橋渡し役が必要であること。そして、何より大事なことは、住民意思の变革が必要であるということである。

二日市東地区
紫公民館

平成29年1月22日(日)
紫公民館にて開催されました。二日市東地区として初めての開催です。



研修テーマは「バリアフリー改修工事と公民館活動内容について」です。バリアフリー改修工事期間2カ月の公民館の使用をどうするか、また、一番の心配事は図面の紛失で配線、配管が判らず大変でした。サークルや地区の皆様の協力で1カ月の全館休館で、エレベーター設置とトイレの改修が済み、「集い・学び・交流」の場として皆に優しい公民館になりました。

最後に出席頂いた皆さんに全館を見学していただき、視察研修を終えました。

筑紫南地区
美しが丘南公民館

平成29年1月28日(土)
美しが丘南公民館において、「公民館活動の現状と課題解決の拠点としての役割」のテーマで開催いたしました。



最初に、夏祭り等の4大事業を紹介後、「学び」や「親睦」だけでなく、昨今「課題解決の拠点」としての役割が、公民館に強く求められていることを説明致しました。当自治会では、昨年6月に「課題検討委員会」を設置し、「防災組織の整備」等に取り組んでいます。今後、各種事業の見直し等について検討を重ね、真に持続可能な公民館活動のあり方を追求して参りたいと考えています。

筑紫野市小地区公民館連絡協議会とは

趣旨と沿革

昭和34年の社会教育法の改正により「中央公民館」「地区公民館」のほかに同法第42条に基づいて「小地区公民館」が設置されました。この活動を軌道にのせて住み良いまちづくりを目的に、市では、昭和42年に小地区公民館の振興を図るため小地区公民館施設の補助条例を制定、更に昭和43年社会教育活動推進のため小地区公民館主事設置補助条例が制定されました。そして、地区が連携し、それぞれの小地区公民館を拠点に全市民的な公民館活動への高揚を図る小地区公民館連絡協議会が結成されました。

小地区公民館連絡協議会は、昭和43年末から主事会の名称で会議がなされていましたが予算措置もなく昭和49年7月から負担金の拠出等事業費が確立され、公民館関係者の資質を高めるため、地区別視察研修会、先進地視察研修会、推進大会、小公連だよりの発行等を行っています。



筑紫野町 二日市公民館63年前

■昭和29年度町制60周年記念事業で町立公民館を建設。旧五カ町村合併がスタートする1年前、総工費1,300万円をかけて11月3日の「文化の日」に落成式をした。600席の講堂(ステージ付き)、会議室2、青年学級室、図書室、郷土室、事務室、館長室など備えた本格的な社会教育施設が誕生した。



町制60周年で完成した二日市町公民館のPR館報

(筑紫野市史より)

筑紫南地区・原田公民館

《原田公民館の概要》

小金丸 直樹 (原田公民館主事)

JR 原田駅前から東へ約 400m、徒歩 5 分の位置にあります。約 2,300 世帯、人口 6,000 人を抱え、筑紫野市の全行政区の中で一番大きい世帯数と人口となっています。原田公民館は、写真の本館の他に、3つの分館(上原田分館・新町分館・東分館)があります。それぞれに主事がいるため、他の区と違い 4 名の主事がいます。

■公民館活動：夏祭り、敬老会、体育祭、文化祭、防火ふれあいフェスタ、グラウンドゴルフ、いきいきサロン等を実施していますが、特徴としては、バスハイク(貸し切りバス 2 台使用、年 2 回実施)、ほたるの里づくり(ほたるの幼虫&カワナニ放流、鑑賞会実施)、防犯・防火パトロール(月 2 回、大人&子ども 1 回約 50 名参加)、ルンルン健康教室(月 1 回、健康寿命を伸ばす運動実施)です。

■公民館使用サークル：ストレッチ体操、太極拳、カラオケサークルの活動の助成をしています。

■公民館活動助成：長寿会、防犯組合、婦人防火クラブ、スポーツクラブ、子ども育成会、剣心会、身障者の会、見守り隊の 8 サークルに助成金を支給し、各サークルの活動の助成をしています。



ほたるの幼虫放流



防犯・防火パトロール



ルンルン健康教室



御笠地区・天山公民館

公民館は国道 386 号線より北側にあり、三差路の信号より 300 m の所に位置しています。天山区は、童男少女岩という徐福伝説の歴史的な所があり、風光明媚で交通の便も良く住みやすい所です。しかし平成 11 年度の人口 812 人・世帯数 310 が次年度より減少し、平成 28 年 12 月末現在人口 649 人・世帯数 300 になりました。世帯数は 3.2% の減少ですが人口は 20% の驚く程の減少です。公民館を気兼ねせず誰でも使用し、又催し物をする人(グループ)が沢山増えるように持っていきたいと思えます。そして活発で元気な公民館を目指し活動していきます。

■公民館事業、行事：夏祭り・敬老会・体育祭

公民館主催⇒高齢者健康教室・認知症映写会・障がい者映写会、子供会、老人会、ボランティア合同

(サツマイモ苗植えから収穫まで・門松づくり)

老人会⇒資源回収後誕生会(年 4 回)

ふれあい会(ボランティア)⇒里山自然観察会

(会、講師、中学育成会合同ソーメン流し、発表会)

公民館サークル教室：ふれあいサロン・詩吟・民謡・舞踊

有田 賢二 (天山公民館長)

編集後記

「小公連だより」は、年 3 回発行しています(3・7・11 月)各公民館活動をもっと知っていただくよう、記事・写真等がありましたらご連絡ください。

広報編集委員 杉塚公民館長 萩尾 土郎